

令和4年度 小金井市立緑小学校 第5学年授業改善推進プラン

	1学期の成果	2学期以降への課題	具体的な改善策
国語	<p>○説明文では、筆者の論理展開を押さえながら、要旨を捉えて読むことができた。また、構成や表現の工夫に気付き、筆者の主張を読み取ることができた。</p> <p>○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、情報を正確に集めて自分の考えが伝わるように報告文に書き表すことができた。</p> <p>○ICT機器を使用することで、文章の全体の構成を考えたり、順序を入れ替えたりすることができた。</p> <p>○お互いの考えを交流する際にICT機器を使用することで、自分の考えを広げることができた。</p>	<p>○文章の中で、漢字と仮名を適切に使い分け、文字に注意して正しく書くことができるようにする。</p> <p>○思考に関わる語句の量を増やして話や文章の中で使うことができるようになり、活発な話し合い活動に繋げられるようにする。</p> <p>○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉えることができるようにする。</p> <p>○互いの立場や意図を明確にしながらかつ画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりできるようにする。</p> <p>○読書の幅を広げ、語彙を豊かにしていくことができるようにする。</p>	<p>○漢字の学習では、熟語で書いたり、同音異義語に注意したりして宿題等で継続的に学習していく。書いた文章は必ず確認させる。</p> <p>○思考に関わる語句（「しかし」や「要するに」など）を話や文章の中で使うことができるように一覧表を教室に掲示し、日常的に慣れ親しませる。</p> <p>○朝の会のスピーチや授業中の友達の発言などの際に、話の目的や伝えたいことを考えながら聞くことができるようにする。また、自分の考えと比較して共感したことなどを発表し、聞く力を高めさせる。</p> <p>○話し合いの際には司会などの役割を決めたり、話し合う視点を明確にしたりして自分の考えを広げさせる。</p> <p>○教材文に関する本の紹介を行うなど、読書に親しむ機会を増やす。また、読書カードを活用し、多様な視点から物事を考えることができるようになることに気付かせる。</p>
社会	<p>○世界の大陸と主な海洋、主な国の位置などについて、大まかに理解することができた。</p> <p>○地形や気候などに着目して、各種の資料で調べ、まとめ、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉えることができた。</p> <p>○食料生産の学習では、米作り農家の仕事の様子から、工夫や努力、自然環境との関わりを捉え、生産者の現状や課題について関心をもつことができた。</p> <p>○ICT機器を活用し、まとめる活動を行ったことでグラフを読み取ったり、伝えたいことを端的に表現したりする力が高まった。</p>	<p>○食料生産や工業生産など日本の産業に従事している人々の工夫や努力について、具体的に調べ、国民生活を支えていることを理解できるようにする。</p> <p>○ICT機器を活用し必要な情報を収集したり、各種の基本的資料から情報を適切に読み取ったりして、関連性を見付けることができるようにする。</p> <p>○社会的事象の特色や相互の関連について理解し、自分たちの生活との関わり合いを考えながら、学習を深めることができるようにする。</p> <p>○学習問題を自分事として捉え、意欲的に調べたり、社会事象の特色や意味について多角的に考えたりする。</p>	<p>○人々の工夫や努力に気付いたり、より具体的な内容に注目したりすることができるように、グループでの話し合いをする機会を設ける。</p> <p>○グラフや表など資料を正確に読み取れるように、クラス全員で読み取った内容の確認する。</p> <p>○体験的活動、実物資料を取り入れた学習を展開することで、学習した事柄を、より深く考えさせる。</p> <p>○導入で積極的にICT機器を活用して児童の課題意識を高め、興味・関心を引き出すことができるような資料提示を行う。課題意識を共有し、全員で問題を解決していく意識を高める。</p>
算数	<p>○位取り表などの操作活動をすることで、整数や小数の仕組みについて理解を深めたり、整数との共通点や計算のきまりを用いて、小数のかけ算やわり算の計算の仕方を理解したりすることができた。</p> <p>○体積の学習や合同な図形の学習では、具体物やスクールタクト上の図形を操作することを通して直方体や立方体の性質の理解を深めることができた。</p> <p>○習熟度別のクラス分けで少人数指導を行うことにより、一人一人が意欲的に課題に取り組むことができた。</p>	<p>○小数の乗法・除法の計算の仕組みや筆算の仕組みを理解し定着できるようにする。</p> <p>○既習の学習を生かし、別の視点を考えることができるようにする。文章題を読み、必要に応じて数直線や表を利用して、自分の力で立式できるようにする。</p> <p>○自分の考えをノートに書き、すすんで説明することができるようにする。</p> <p>○テストやワークシートの記述に際して、今一度確認する習慣を身に付ける。</p>	<p>○計算問題は、反復練習を行うことにより定着を図る。ICT機器を活用し、自ら学んでいくようにする。</p> <p>○問題文から必要となる情報を導き出し、数直線を活用する中で、対応する言葉必ず付けることで理解につなげる。</p> <p>○既習事項の確認を丁寧に行い、学んだことを基に考えられるようにする。また、友達の考えを共通点、相違点、相似点を意識しながら、説明を聞くことで自分の考えを説明させる。</p> <p>○問題の趣旨を把握せず、回答することで起こる間違いを防ぐために、最後に必ず問題の趣旨と回答を確認する。</p>
理科	<p>○自然の事物・現象に興味・関心をもって、実験をしたり観察をしたりすることができた。</p> <p>○インゲンマメの発芽や成長に必要な要件を調べるために、条件を考えて制御しながらインゲンマメを育てた。発芽や成長の要件の理解を深めることができた。</p> <p>○メダカの観察を通して共通点や相違点について、理解することができた。また受精卵を観察する活動を通して、メダカの成長について理解を深めることができた。</p> <p>○顕微鏡などの器具について、正しい使い方を理解することができた。</p>	<p>○既習事項や生活経験を生かして根拠のある予想や見通しをもって、観察、実験を行うなどの問題解決の活動を行うことができるようにする。</p> <p>○観察、実験の結果を基に考察を行い、次の問題を発見し、新たな視点で自然の事物・現象を捉え解決できるようにする。</p> <p>○児童一人一人が実験の技能を体験的に身に付けることができるようにする。</p>	<p>○予想、実験条件と方法、結果、考察など、思考の流れを分かりやすく表現することができるようにワークシートを工夫したり、ICT機器での記録の仕方を丁寧に行ったりする。知識だけでなく、自分の言葉で表現させる。</p> <p>○自分で調べたり観察したりして得た情報をICT機器を使って整理し、主体的に問題解決できるように、考える時間や話し合う時間を十分に確保する。</p> <p>○実験の技能が高まるように、教材や器具の充実を図る。ICT機器を積極的に活用し、資料や実験方法について詳しく何度も確認させる。</p>

音楽	<p>○低音、和音、旋律のそれぞれの役割を生かした楽器を選び、合奏をした。</p> <p>○曲想とリズムの変化との関りを感じ取りながら表現を工夫することができた。</p>	<p>○歌う姿勢や発声の仕方など、基礎的な能力を伸ばし、自信をもって表現することができるようにする。</p> <p>○パートの役割や関わりを捉え、表現を工夫しながら、合奏を楽しむことができるようにする。</p>	<p>○姿勢や発声、呼吸などを意識して歌う経験を積み重ね、少人数で歌う中で、自分や友達の声を聴いて声を合わせる楽しさを体験する。</p> <p>○個人練習やパート練習の時間を充実させ、合奏の楽しさや表現を工夫して演奏する喜びを感じ取る。</p>
図画工作	<p>○水彩絵の具でグラデーションをつくり、自分のイメージに合った世界を表現することができた。</p> <p>○電動糸のこぎりの正しい使い方を理解し、安全に気を配りながら、板を切ることができた。</p>	<p>○様々な表現方法を知り、自分の作品制作に生かす力を付けることができるようにする。</p> <p>○カッターナイフや彫刻刀などの道具を安全に扱い、自分なりの表現方法で作品をつくるようにする。</p> <p>○chromebookを使い、アニメーション作品をつくる。物や形の動きや変化についての発想する力をつけるようにする。</p>	<p>○今まで経験したことのない表現方法を積極的に試すことのできる機会を設ける。</p> <p>○表現方法を工夫している児童の作品や作家の作品を授業の中で紹介していく。</p> <p>○ICT機器を活用し、自分や友達の作品を見たり、交流したりする活動を取り入れる。見方や感じ方から、新しい見方や価値に気付かせる。</p>
家庭	<p>○家庭で行われている仕事に関心を持ち、自らの生活と学習を関連させ、意欲的に取り組もうとする姿が見られた。</p> <p>○裁縫の学習では、保護者ボランティアを招待し、道具を取り扱う上での注意や玉結び・玉止めをはじめ基礎的な技能等について教えてもらいながら学ぶことができた。</p> <p>○一人一台端末を用い、手元で作り方の動画を確認することで、個人の進度に合わせて実習を行うことができた。</p>	<p>○家庭で行われている仕事に関心をもつような課題と学習内容を関連付けて知識や技能を身に付けられるようにする。</p> <p>○2学期以降、ミシン縫いを学習するにあたって、安全で正確な取り扱いができるようにする。調理においても安全に行えるよう工夫していく。</p> <p>○一人一人の技能が定着するよう実践の機会を多くもたせる工夫をする。</p>	<p>○学習したことを家庭で生かせるよう課題を工夫していく。</p> <p>○ミシン縫いの学習では、安全に配慮し、活動する。ICT教材を取り入れて分かりやすく進め、各自がミシン操作ができるようにしていく。</p> <p>○ICT機器等の活用で得られた、児童の学習状況を学習活動に反映させることにより、個々の児童がそれぞれに適した学習方法を選択して、主体的に取り組ませる。</p> <p>○学習の見通しをもたせることにより、持ち物の準備や作業を計画的に行う。</p>
体育	<p>○短距離走では、自己の目標タイムに向かって、場を自ら選択して練習に取り組むことができた。</p> <p>○リレーでは、テイクオーバーゾーン内で、減速の少ないバトンの受渡しをするにはどうすればよいか、仲間と作戦を考えて取り組むことができた。</p> <p>○フラッグフットボールでは、チームとして攻撃の作戦や、守備の隊形を考え、話し合いをして修正を加えながらゲームに取り組むことができた。</p>	<p>○技の習得や上達のために大切なポイントを自ら見付けることができるようにする。</p> <p>○仲間と伝え合い、話し合いながら解決の仕方を工夫することができるようにする。</p> <p>○自己の課題を見付け、安全に配慮しながら、進んで取り組むことができるようにする。</p>	<p>○技の習得を進める機会を増やし、学習カードや一人一台端末などで振り返る活動を取り入れるようにする。場の工夫をしたり、グループで話し合ったりする活動を取り入れる。</p> <p>○学習カードや学習資料、ICT機器を単元を通して使用し、児童の気付きや友達との話し合いについての確に把握し、学習活動に反映させる。</p> <p>○自ら学習課題を見付けるために、ICT機器を有効に活用していく。映像をグループで見合うことによって、対話的な学習を活性化させる。</p>
外国語	<p>○デジタル教科書を活用した視覚的資料と連動しながら動画や音声再生したことで、英語の情報を聞き取り、理解することができた。</p> <p>○英語の発表では、自分のことや好きな時間割などを聞いている人に分かりやすく話そうとしたり、相手の話をよく聞こうとしたりすることができた。</p>	<p>○自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。</p> <p>○大文字、小文字を活字体で四線上に正しく書くことができるようにする。</p>	<p>○必然性のある活動を重視し、コミュニケーションを行う場面や状況などを授業に取り入れる。また、スクールタクトなどを活用し、自分の考えや気持ちを相手に伝わりやすくする。</p> <p>○文字を識別したり、発音したりする活動を行い、十分慣れ親しませる。活字体を書く時間を繰り返し取り入れるだけでなく、ゲーム的要素を取り入れるなどの、書く目的をもたせた、児童の学習意欲を高める。</p>
道徳	<p>○お互いの考えをICT機器や黒板を使って共有するなどしたことで、相手の立場を確認しながら話し合いを進めることができた。</p> <p>○児童の発達段階に即して、教材選定を行ったことで、児童がより深く考えることができた。</p>	<p>○他者理解について、話し合い活動の時間を十分にとり、より深めることができるようにする。</p> <p>○児童自らの生活や経験を振り返りながら、積極的に道徳的価値を考え、深めることができるようにする。</p>	<p>○小さいホワイトボードやスクールタクトなどを活用しながら、話し合う時間を十分確保し、対話を通して学ぶことができるように工夫する。</p> <p>○授業の最後に学んだことを振り返る時間を設定する。ワークシートをファイリングすることで、これまでに思考してきたことを確かめさせる。</p>